CLAIRトピックス

――最近のクレアの動きや所管国の状況などを短くまとめて紹介します

シンガポール事務所

桜とともに日本を PR！～ツーリング・スプリングタイム・ジャパン 2024 ～

2024 年 3 月 23 日から 24 日にかけて、クレアシンガポール事務所は、ガーデンズバイザベイ、在シンガポール日本大使館、ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）、日本貿易振興機構（JETRO）、日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）、日本政府観光局（JNTO）とともに、日本観光 PR イベント「ツーリング・スプリングタイム・ジャパン 2024」を開催しました。当イベントは 3 月 22 日から 4 月 21 日にかけてガーデンズバイザベイ主催の本物の桜を観賞できる「サクラ 2024」の会期中に併せて行われたもので、2 日間で 1 万 1,000 人以上が会場を訪れ、大いに盛り上がりました。

会場は、華やかな照明で彩られ、和楽器演奏、茶道や餅つきなどの日本文化を感じさせる各種パフォーマンスが披露されました。また、日本の 6 つの地域ブース（北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）を設け、当事務所の職員がアンケート回答者への地域のお菓子の提供、観光パンフレットの配布、地域の名所バナーとの写真撮影などで魅力を発信するとともに、桜の折り紙体験を行いました。今回は JETAA（元 JET 参加者の会）シンガポール支部の皆様にご協力いただき、職員と連携して観光や食の情報発信を行いました。

桜がテーマである本イベントでは、参加者が本物の桜を眺め、桜に関する話題で盛り上がりを見せるなど、桜への高い興味関心をうかがうことができました。また、地域ブースでは桜を契機に季節の話題となることも多々あり、改めて四季折々の景色を楽しむことができる日本ならではの魅力を発信していくことの大切さを実感したイベントとなりました。

会場の様子

ブースにてパンフレットの説明を行うクレアシンガポール事務所職員

シドニー事務所

クレアフォーラム 2023/2024 を開催しました

2024 年 3 月 11 日、クレアシドニー事務所は、シドニー工科大学公共政策研究所兼地方自治センターと共催で、クレアフォーラムをハイブリッド方式で開催しました。

今年で 29 回目の開催となるクレアフォーラムは、日本、オーストラリア（豪州）、そしてニュージーランド（NZ）の地方自治体が直面する政策課題などをテーマに掲げ、地方自治体関係者などが、各々の取組事例の紹介を通じて意見交換を行う場です。また、クレアシドニー事務所の職員が、各自の派遣元の取組事例や自身の日本での勤務経験などを基に、発表を行う場でもあります。

今回は、「災害対応と災害からの回復」をテーマとし、ゲストスピーカーもお招きし、クレアシドニー事務所の職員５人の発表を含む、計７つの事例発表が行われました。自然災害や感染症の流行など幅広い事象について触れ、過去の教訓を生かした計画制定や、持続性のある復興施策の必要性を認識するとともに、多様な文化・言語的背景のある社会では、災害時にコミュニティー内で孤立者を生まないよう、政府や地方自治体、民間企業などさまざまなセクターと連携し、コミュニティーと強い関係性を構築することの重要性などが議論されました。

３つの国に共通する大きな課題であり、開催日にもゆかりのある今回のテーマは、多くの参加者から興味関心を集め質疑応答や発表後のネットワーキングの時間においても活発な意見交換が行われました。

クレアシドニー事務所は、豪州、NZ、そして日本が抱える課題に対し、互いが新たな視点を得て解決の一助となるよう、今後も現地機関と連携してまいります。

クレアフォーラム 2023/2024 の参加者集合写真

クレアシドニー事務所職員の発表

ニューヨーク事務所

日本ふるさと名産食品展を開催しました

2024 年 2 月 22 日から 25 日にかけて、本部経済交流課とともにクレアニューヨーク事務所は、ブルックリンのジャパンビレッジにおいて日本各地の名産品を集めた物産展「日本ふるさと名産食品展 in ニューヨーク」を開催しました。3 回目の開催となる今回は、10 自治体から参加した 16 事業者が計 67 品目の地域特産品のサンプル提供と販売を行いました。

イベント期間中の来場者総数は 1 万 9,137 人を数え、日本から渡航した事業者からは、「直接アメリカの消費者と出会える機会で、貴重な情報収集の場になった」「全国の異なる地域や商品と一緒に商品を販売・PR できる機会は非常にありがたかった」などといった声が聞かれました。

また、観光で日本を訪れるアメリカ人は、日本のヘルシーな食文化への関心も高いため、参加した事業者の地元自治体とタイアップして各地の観光パンフレット配布や当協会職員による観光情報に関する説明を行いました。

このイベントは同じく海外展開を目指す事業者同士の情報交換の場としても機能し、参加者間での経験や知識の交換により、個々の事業者の発展だけでなく、日本食を世界に広める有益な機会となりました。

来場者で賑わう会場

クレアブースで日本の観光情報を説明する当協会職員

パリ事務所

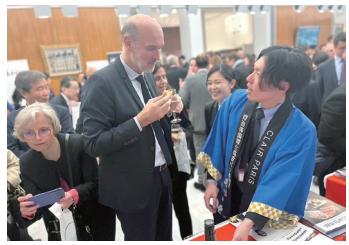
パリ天皇誕生日祝賀レセプションに出展して日本の自治体を PR！

2024 年 3 月 28 日、在仏日本大使館主催の「天皇誕生日祝賀レセプション」がパリ市内の大使公邸で開催され、500 人を超えるフランス各界の著名な関係者が式典に出席しました。来場者は、和牛や海産物などの日本食に舌鼓を打ちつつ、下川眞樹太大使をはじめとした日本政府・自治体関係者などとの相互の絆を深めました。

クレアパリ事務所は、毎年同式典にブースを出展し、日本の自治体のパンフレットやノベルティの配布を通じて、来場者に日本各地の文化や歴史を知っていただき、それぞれの地域が持つ魅力を積極的に PR しています。併せて、より日本への関心を高める機会として、日本酒の試飲を行っています。今回は、新潟市や金沢市の日本酒をお猪口とともに来場者に振るまうことによって、生産地により異なる日本酒の味わいを PR しました。試飲が始まると、ブースの前にはその味や香りなどの個性を比べようと大きな人だかりができ、来場者からは、銘柄によって風味やのどごしが異なることに驚きの声が聞かれたほか、「生産地を教えてほしい」とパンフレットを手に取る姿もありました。さらに、今年は自治体 PR に花を添える新たな試みとして、おにぎり（新潟県産米使用）の提供も行いました。ツナや梅など日本人に定番の味に加え、青のりなど見た目も鮮やかに彩られたおにぎりを前に、「お寿司との違いは？」「これはお餅？」など、来場者からは多くの質問が職員に寄せられ、日本の伝統的な食文化に大きな注目が集まりました。来場者がシャンパングラスやお猪口に注がれた日本酒を左手に、そしておにぎりを右手に持ちながら職員と意見交換をする姿は、この式典ならではの光景であり、とても印象的な機会となりました。

クレアパリ事務所では、今後も、あらゆる機会などを捉え、個性溢れる日本の自治体の魅力を発信していきます。

クレアブースの様子


おにぎりを試食する来場者

ソウル事務所

新しい JET 参加者が日本へ赴任しました！

2024 年 4 月 7 日、語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）に国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）として新たに参加する 15 人が、韓国から日本へと旅立ちました。

赴任前にソウル市内で行われたオリエンテーション・壮行会では、川瀬和広在韓国日本大使館公報文化院長や JETAA（元 JET 参加者の会）のメンバーから、参加者に向けた激励のあいさつがありました。

韓国では、中学生から外国語教育の一環で日本語を学習することも多く、特に若い世代において日本への関心が高まっており、JET プログラムの応募者のレベルも年々向上しています。どの参加者も、日本での留学経験や、日本文化に精通しているなど、語学力はもちろんのこと高いレベルで日本への理解を有しています。壮行会で、参加者各自が赴任前のあいさつを行う場面では、意気込みを堂々と語る姿が見られました。

今後の日本と韓国の交流発展の橋渡し役として、15 人の皆様の多くの活躍を期待しています。

オリエンテーションの様子

壮行会の様子

ロンドン事務所

海外 PR 用インスタグラムアカウント「Local eyes Japan」をご活用ください！

クレアロンドン事務所が開設する海外 PR 用インスタグラムアカウント「Local eyes Japan（@localeyesjapan）」で、地元の魅力を欧州に発信しませんか？（URL：https://www.instagram.com/localeyesjapan/）

英国をはじめ欧州では、日本食や日本ならではの美しい風景など、日本への関心がますます高まっており、その中では「まだあまり知られていない、ガイドブックにも掲載されていないような隠れた地域の魅力を発見したい！」という声も多く聞かれます。この好機に地元ならではの魅力を発信しましょう！

「Local eyes Japan」では、ご応募いただいた日本全国の名所や美しい景色、料理、文化など、その地域を熟知している自治体の皆様だからこそ知り得る、まさに日本の隠れた魅力を多岐にわたって発信しています。これまでも、PR に役立つツールとして多くの自治体の皆様にご利用いただいており、順調に投稿数、フォロワー数ともに増やしているところです。

ご応募にあたっては、専用の投稿用フォームをご用意しているほか、投稿文の英訳もお手伝いしており、日本語でお気軽にご利用いただけます。

また、自治体の公式インスタグラムをお持ちの場合は、投稿写真にアカウントをタグ付けすることも可能で、貴自治体のアカウントを PR する場としてもご活用いただけます。

ご応募は通年で受け付けていますので、ぜひご利用ください！投稿をご希望の場合はクレアロンドン事務所までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】クレアロンドン事務所
Mail：apply@jlgc.org.uk

LOCALEYESJAPAN
Local eyes Japan
二次元コード

@localeyesjapan

北京事務所

第 38 期 JET 参加者の 39 人を送り出しました！

2024 年 4 月 6 日、北京市の在中国日本大使館において「第 38 期 JET プログラム渡航前オリエンテーションおよび訪問前壮行会・JET 経験者交流会」を行い、39 人の JET 参加者を送り出しました。

壮行会・JET 経験者交流会では第 38 期 JET 参加者を代表して、２人があいさつを行い、「日中友好の懸け橋になりたいと思い志願した」「不安は多いが、大胆に新しいことに臨み、明るい私たちの未来に向かって頑張ろう」と、日中友好交流のさらなる発展に向けた熱い思いが語られました。

壮行会の最後には、金杉駐中国日本大使より「今回渡航される皆様は言わば、日本と中国を結ぶ『大使』である。日中間の国民交流を活発化させる推進力となっていただきたい」とあいさつがありました。

参加者たちが、今後の自治体での勤務経験や生活を通じ、日本への理解を深め、日中友好の懸け橋となることを期待しています。

JET 参加者代表あいさつ

壮行会集合写真

JET プログラム事業部

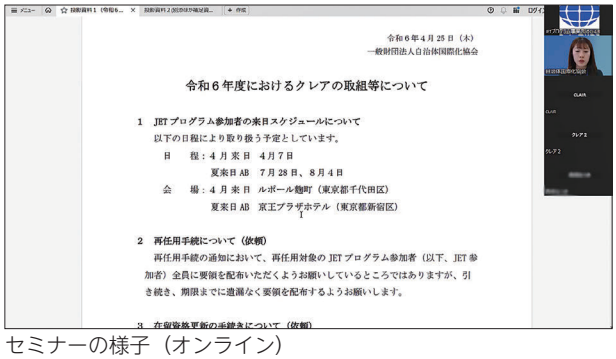
全団体 JET プログラム担当者セミナーを実施しました！

2024 年 4 月 25 日に、全団体 JET プログラム担当者セミナーを実施しました。本セミナーは、これまで取りまとめ団体の JET プログラム担当者を対象に実施していた「JET プログラム担当者会議」、および任用団体において新たに JET プログラムの担当者となった職員を対象とした「新規 JET プログラム担当者セミナー」を統合して開催する初の試みです。

Zoom ウェビナー形式で実施したところ、全国から約 600 人に出席いただきました。

セミナーの前半では JET プログラムの基礎知識や事務手続きの説明、後半では業務に役立つ資料の紹介を行い、参加者からは「具体的な事例の提示が参考になった」「業務内容の確認ができた」などのご意見をいただきました。

引き続き、各団体の需要に応じたよりよいサポートを提供できるよう努めてまいります。


令和６年４月 25 日（木）
一般財団法人自治体国際化協会

令和６年度におけるクレアの取組等について

1　JET プログラム参加者の来日スケジュールについて
以下の日程により取り扱う予定としています。
日　程：４月来日　４月７日
夏来日 AB　７月 28 日、８月４日
会　場：４月来日　ルポール麹町（東京都千代田区）
夏来日 AB　京王プラザホテル（東京都新宿区）

2　再任用手続について（依頼）
再任用手続の通知において、再任用対象の JET プログラム参加者（以下、JET 参加者）全員に要領を配布いただくようお願いしているところではありますが、引き続き、期限までに遺漏なく要領を配布するようお願いします。

3　在留資格更新の手続きについて（依頼）
セミナーの様子（オンライン）

経済交流課

プロモーションアドバイザー事業をぜひご活用ください！

クレアでは、自治体の海外プロモーション（海外販路開拓・インバウンドなど）を支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家・プロモーションアドバイザー（PA）の派遣を行っています。

今回は、2023 年度下半期の派遣実績の一部をご紹介します。

①出水市（派遣 PA：オルレコミュニケーションズ　代表　李唯美氏）

韓国をはじめとする世界各国からインバウンド誘致を推進するため、市内オルレコースの視察やセミナーを開催し、ガイド養成およびコース整備に関するご助言をいただきました。

②静岡県（派遣 PA：株式会社やまとごころ）

県内の人気観光地に集中するインバウンド観光客をその他エリアにも誘導すべく、各観光地を視察の上、効果的な情報発信などに関するご助言をいただきました。

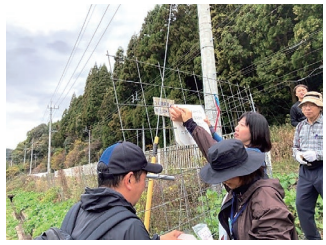
③呉市

（派遣 PA：株式会社インバウンドにっぽん　小野秀一郎氏）

宿泊施設を中心に市内観光施設を視察の上、外国人から見た魅力的な観光資源の発掘や磨き上げ、受入体制整備の強化、効果的な情報発信などに関するご助言をいただきました。

派遣の申し込みは随時受け付けております。お気軽にご相談ください！

【お問い合わせ】経済交流課
Tel：03-5213-1726　Mail：keishin@clair.or.jp


PA による現地視察の様子（出水市）

現地視察後に PA から助言する様子（静岡県）

交流親善課

第８回日仏自治体交流会議を静岡市で開催します！

日仏自治体交流会議は、日仏両国の自治体が一堂に会し、両国の自治体が抱える共通の行政課題や先進施策などについて発表・議論することで、両国の地方自治の発展に寄与することを目的に開催しています。

日本側開催となる今回の会議は、2024 年 11 月 18 日(月）から 21 日(木）にかけて静岡市で開催します。テーマは「日仏自治体のパートナーシップがもたらす新しい価値」とし、経済、社会、環境の各側面からフランスの自治体と意見交換を行うことで、新しい持続可能な政策モデルの共創を目指します。

第８回会議は、フランスと姉妹都市交流などを行っている自治体だけでなく、フランスとの交流に関心のある全ての自治体にご参加いただけます。

６月上旬から参加申込を開始しますので、奮ってお申込みください。

詳しくはクレアのホームページへ！
http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/nichi-futsu.html

◆日　程　2024 年 11 月 18 日(月）～ 21 日(木）の４日間
◆開催地　静岡市（グランディエール ブケトーカイ）

第７回エクサンプロヴァンス会議の分科会発表

多文化共生課

2023 年度「多文化 Opinion Exchange」をオンラインで開催しました

クレアでは、外国人住民や外国人コミュニティなどからの情報発信を通して、外国人住民と日本人住民の相互理解を深めることを目的に「多文化 Opinion Exchange」を開催しています。2023 年度は「地域コミュニティとの交流から得たもの～日本に住み続けたい理由～」をテーマにオンラインで 2024 年１月 22 日に開催し、167 人が参加しました。

明治学院大学准教授の長谷部美佳氏のファシリテートのもと、外国人パネリストを含む４人に登壇いただき、日本に住み続けたいと感じる理由などをお話しいただきました。

長谷部氏からは、在住外国人の定住化促進にあたっては、在住外国人にとってキーパーソンとなりえる日本人をどれだけ増やせるかが重要ではないか、との提言があり、非常に示唆に富んだ内容となりました。

本事業は 2024 年度も開催する予定ですので、是非ご参加ください。

市民国際プラザ

ご相談を受け付けています

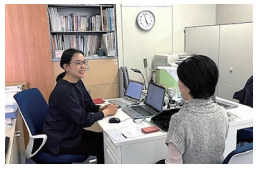
市民国際プラザでは国際協力、多文化共生の推進のため、自治体と NGO/NPO などとの連携を支援しています。相談も随時受け付けていますので、お気軽にご連絡ください！

■相談受付（電話、メール、来館、Zoom）

- 多文化共生における自治体と NGO/NPO との連携など
- 国際協力における自治体と NGO/NPO との連携など
- 先進事例の照会
- SNS、メルマガでのイベントなどの広報について
- 地域国際化協会・国際交流協会の取り組みについてのご相談

市民国際プラザ　検索
http://www.plaza-clair.jp/

- 来館、Zoom 相談は事前にご予約ください
- 市民国際プラザは６階のクレア執務室内に移転しました


市民国際プラザ相談対応の様子